

## 1. 学校名

鶴岡市立湯野浜小学校

## 2. 活動テーマ

湯野浜の海を楽しもう

## 3. 実践の概要・ねらい

本校は、県内最大規模の海水浴場とされる湯野浜海水浴場に隣接している。湯野浜の波はサーフィンに適しており、一年を通して多くのサーファーが湯野浜を訪れている。1821年の記録に、湯野浜の子ども達が「瀬のし」とよばれる一枚板を用いて波乗りをして遊んでいたことが残っており、そのことから湯野浜は「日本のサーフィン発祥の地」とされている。

近年は保護者の安全意識も高い為、海辺の学校でありながら、海水浴シーズン以外に子ども達は浜辺に遊びに行くことが殆どない。恵まれた環境に育ちながら、海に親しむ機会が少なくなっているという実態である。昔からこの地で親しまれてきた波乗りを子ども達に体験させることで、湯野浜の海の魅力を実感させることができると考える。

サーフィンは、小学生には難易度の高い運動ではあるが、クラブ活動に位置づけることで、興味のある児童は3年間継続して体験することができ、波に乗る爽快さを味わうことができるようになるのではないかと考えている。

本校のサーフィンプラブは、平成12年度から活動が始まった。当初から地域講師を招いての活動を行ってきた。ウェットスーツやサーフボード等の道具類は、地域の方から古くなって使わなくなった物を譲り受けて活動を始めた。

夢中になって湯野浜の海を楽しむことで、海や地域のことが好きになり「海や湯野浜地域を大切にしたい」という思いを自然にもつことができるようになることを期待している。そういう思いがあればこそ、学年の総合的な学習の時間などで、主体的に地域のことを考え、地域の為に自分たちのできることを実践するような学びが展開されるものと考えている。

## 4. 実践計画

### (1) 活動計画

#### ① マリンレジャークラブの活動のめあてと計画作成

- 活動の価値を実感できるように、クラブのめあてを子ども達自ら考える。
- 主体的に活動に取り組めるように、計10回のクラブ活動の計画を自分達で立案する。

#### ② ボードに立つための基本動作の学習

- 屋内にて、地域講師からサーフィンの基本動作を指導してもらう。
  - ・ ボードに腹ばいになって水を手でこぐ
  - ・ 腹ばいの姿勢からバランスをとりながら立ち上がる。

#### ③ 砂浜クリーン活動

- 活動する浜辺に行き、お世話になる海に感謝の気持ちをこめながらゴミ拾いをする。

#### ④ サーフィン実地練習

- 地域講師によるサーフィン指導。グループに分かれて実際にボードに乗る練習を行う。
  - ・ ウェットスーツの着方・ボードの持ち方
  - ・ 腹ばいの姿勢からボードに立つ。

⑤ シーカヤック体験

- 波が穏やかでサーフィンができないときは、シーカヤックを体験する。
  - ・ パドリングを学習する。
  - ・ 箱めがねを持参し、海の中を観察する。

⑥ クラブの反省と講師へのお礼の手紙

- 次年度に向けて、本年度のクラブ活動を振り返り、反省・課題をまとめる。
- 各自、クラブ活動を通して感じた湯野浜の良さや講師への感謝の気持ちを手紙に書く。

(2) 教科等（総合的な学習の時間）との関連

〈3年生〉

- 学年テーマ「ふるさとのじまん」

湯野浜を探検し、ふるさとの自慢・名人と触れ合う活動を体験し、学習したことをまとめ発信する。

〈6年生〉

- 学年テーマ 「湯野浜に生きる人々」

海・温泉地で生きる人々の思いや工夫を学び、自己の生き方を考え、発信する。

(3) 実践の評価

- ① 児童が主体的に計画を立てたり、活動を進めたりすることができたか。
- ② サーフィンの基本技術を理解するとともに、波に乗ることを楽しむことができたか。
- ③ 自分の取り組み方を振り返ったり、湯野浜の海の魅力を感じたりすることができたか。

5 今年度の実践

(1) 計画からの追加・変更点

波が穏やかなときは、シーカヤックに乗って、箱めがねを使い生き物観察を行う予定であったが、悪天候の日があったが、波が穏やかな日がなく、今年度はシーカヤックに乗る機会がなかった。（クラブ活動ではないが、6年生はPTAの学年行事でシーカヤックに乗る機会を設けることができた。）

(2) 実践の成果

今年度、児童や職員のウェットスーツやサーフボードが揃ったことで、以前より多くの児童がマリレジャークラブに所属できたこと、サーフボードに乗る機会が増えたことで昨年度より、充実した活動を展開することができた。児童はサーフィンの楽しさと共に、湯野浜の海の魅力を十分に感じることもできたものと思われる。

〈児童が指導者に書いたお礼の手紙〉

今年もマリレジャークラブでお世話になりました。たくさん指導していただいたおかげで、怖がらずにボードに立てるようになりました。ありがとうございました。昨年より上達して、とても楽しく活動できました。私達が楽しく安全に活動できるようにさまざまな面で支えていただき、ありがとうございました。マリレジャークラブのような湯野浜ならではの活動ができて良かったです。海が近くにあるのはとても楽しくていいなあと思います。サーフィンやシーカヤックなどのいつもは体験できないようなことを体験させていただき、本当にありがとうございました。

また、6年生の総合的な学習の時間で、児童は湯野浜の魅力を自分たちも発信しようと、学習を進めた。「顔出しパネルを作って、観光客の方々に喜んでもらいたい」「雑誌には載っ

ていない、湯野浜の魅力を自作のパンフレットで紹介したい」という願いを持って取り組んだ。児童は様々なアイデアを出し合いながら、顔を出すとサーフィンをしているようになるパネルや、自分たちがクラブ活動でサーフィンを楽しんでいる写真を載せたパンフレットを意欲的に作成した。学年の総合的な学習の時間が、本気になって児童が追究していく活動になる背景には、マリンレジャークラブで十分に湯野浜の海の魅力を実感していることも要因の一つと考える。

### (3) 次年度への課題

今年度、道具を整備することができて、サーフィングクラブの活動は大変充実したものとなった。また、今年度3年生と6年生が総合的な学習で海をテーマに学習を進めた。

今後は、学校全体の海洋教育について総合的な学習を中心に系統立てながら作成していく予定である。

## 6. 主な連携機関及び内容

- 湯野浜観光協会・・・サーフィン指導
- パワーサーフ・・・サーフィン指導

## クラブ活動（４年生～６年生）「湯野浜の海を楽しもう」

### 【実践のねらい】

1821年の記録に、湯野浜の子ども達が「瀬のし」とよばれる一枚板を用いて波乗りをして遊んでいたことが残っており、そのことから湯野浜は「日本のサーフィン発祥の地」とされている。昔からこの地で親しまれてきた波乗りを子ども達に体験させることで、湯野浜の海の魅力を実感させることができると考える。夢中になって湯野浜の海を楽しむことで海や地域のことが好きになり、「海や湯野浜地域を大切にしたい」という思いをもって、学年の地域学習にも意欲的に取り組むことができるようになることを期待している。

○時数 5月～11月 総授業数17時間（75分×10回÷45÷17時間）

○関連 3年生 総合的な学習の時間「ふるさとのじまん」 6年生 総合的な学習の時間「湯野浜に生きる人々」

- 目標
- (1) 自分たちで主体的に計画を立ったり、活動を進めたりすることができる。
  - (2) サーフィンの基本技術を理解するとともに、波に乗ることを楽しむことができる。
  - (3) 自分の取り組み方を振り返ったり、湯野浜の海の魅力を感じたりすることができる。

### 【主な連携機関及び内容】

- 湯野浜観光協会：サーフィン指導
- パワーサーフ：サーフィン指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月									
ふれる・知る	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>1. サーフィンの安全な乗り方を知る</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①活動のめあてと計画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の価値を実感できるように、クラブのめあてと活動計画を考える。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>②基本動作の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内にて、サーフィンの基本動作の学習</li> </ul> </div> </div>																
									探求する	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>2. サーフィンの技術を追究する</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>③～⑧ サーフィン実地練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウエットスーツの着方・ボードの持ち方について理解する。</li> <li>・ 腹ばいの姿勢からボードに立ち上がる。</li> <li>・ 波を見極めて、自分で判断してスタートする。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈波がなく、サーフィンができない時はシーカヤック〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シーカヤックに乗って、箱めがねで海の生物の観察をする。</li> </ul> </div> </div>							